

より密接な地域医療連携をめざして

地域医療連携室

Office of Community

だより

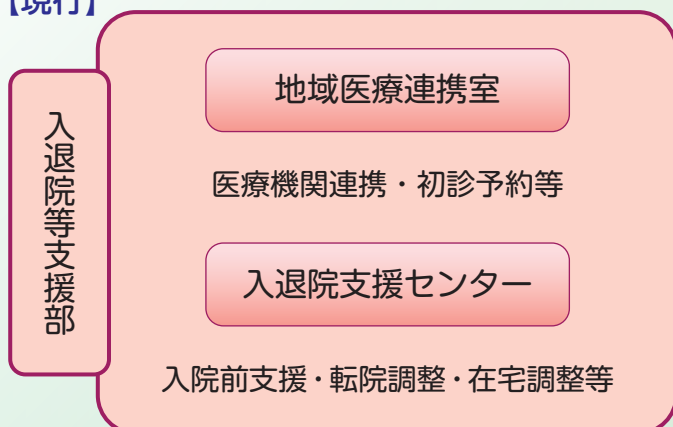
2019 VOL. 15

組織変更のお知らせ

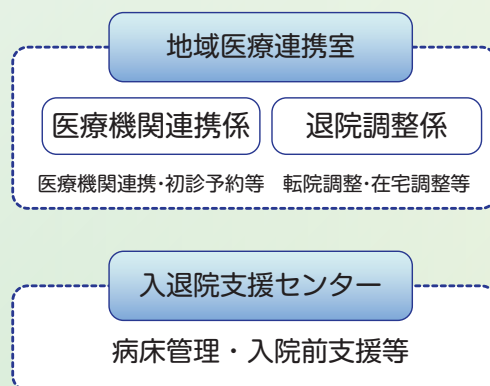
今年度、地域医療連携室と入退院支援センターの組織変更が行われました。

これまでの地域医療連携室と入退院支援センターが「入退院等支援部」に組織統合され、前方連携を担当する部門「地域医療連携室」と入院から退院までを担当する部門「入退院支援センター」が各々の部門としてスタートしました。

【現行】



【18】



【地域医療連携室】

「地域医療連携室」は、病病連携や病診連携を積極的に進めていく部門として、室長（医師）、室長補佐（事務）、連携コーディネーター（看護師）、事務3名、医療事務8名で対応しております。

患者さんに安心して受診していただけるよう、医療機関から初診紹介予約を受け付けているほか、かかりつけ医への逆紹介の推進や連携登録医制度の充実に努めています。

また、地域の医療機関の先生方から安心して患者さんを紹介していただくためにも、紹介元への報告書（返書）管理は不可欠であると考え、紹介医が求める経過報告や診療終了時の報告に向け、書式の整理や返書システムを再構築し、院内会議等において適切な運用の周知と徹底を図っております。

今後も、地域医療連携に関する様々な方との連携強化に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【入退院支援センター】

これまで「地域医療連携室：退院調整係」として入院患者の退院後の療養生活支援を行っていたことに加え、入院が決定した患者さんの入院加療後における退院後の療養支援を行う部門として、「入退院支援センター」と組織を改め、センター長（医師）、看護師12名、社会福祉士8名、事務2名、受付3名体制で対応しております。



↑ 入院前面談場所

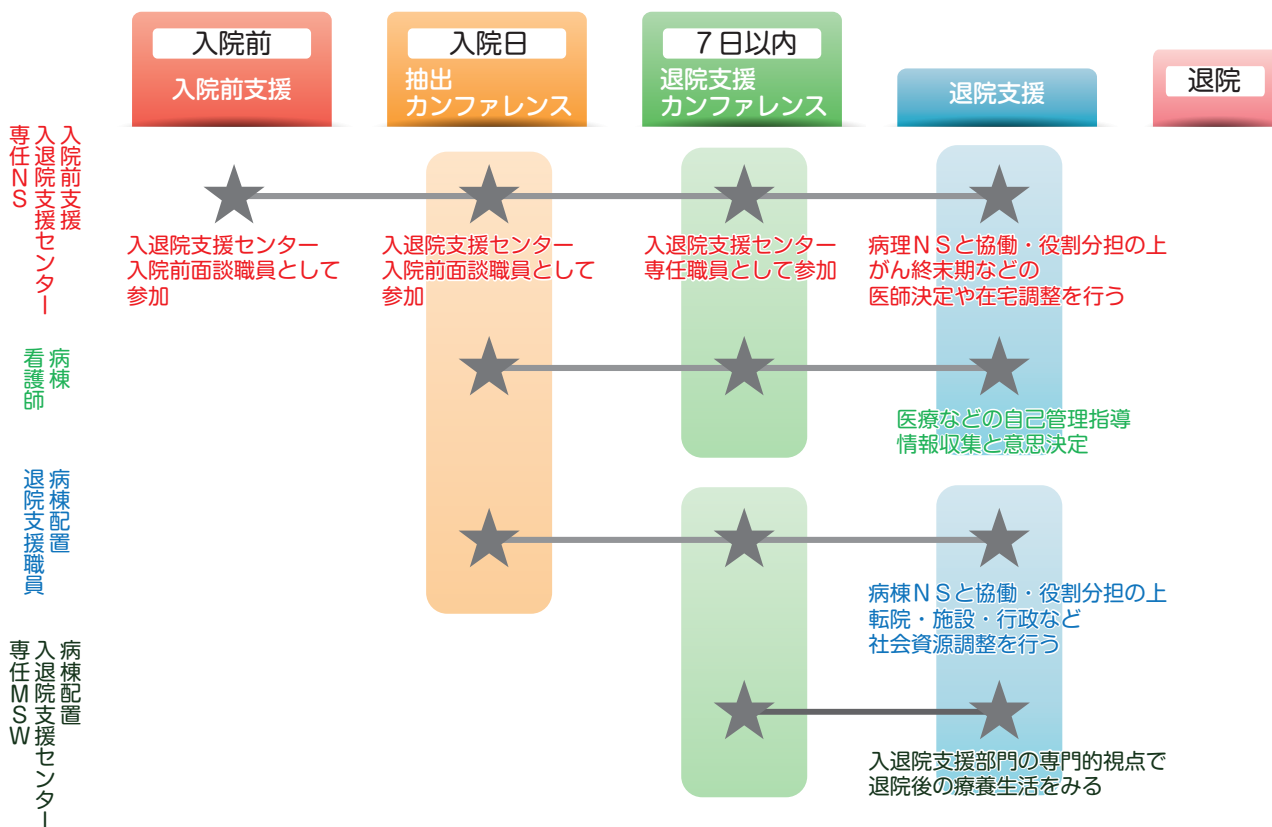


↑ 退院支援場所

今年度の9月に全科導入を目指し、主に看護師が予定入院患者の入院前面談、退院支援の計画立案を実施しております。入院前面談を行った看護師が入院後に病棟看護師・病棟配置退院支援職員（MSW）と共に変化の有無を確認した上で退院後の療養生活の確認を行い、その後の支援は看護師が在宅調整、MSWが転院・施設調整、制度の説明を行うなど、役割分担も確立していきたいと考えています。

他院との調整方法は特別変更する点はありませんが、電話をかける際、受ける際に「入退院支援センター」となります。

経験のある職員数と同数の新規配置職員となり、至らない点もあろうかとは存じますが、今後ともご協力のほどお願いいたします。



第14回地域医療連携懇話会を開催しました



平成31年2月23日(土)、橿原文化会館小ホールにて「第14回地域医療連携懇話会」を開催しました。

病院、診療所の先生方をはじめ、看護師や事務職、消防関係機関の方など、合計136名の方にご参加頂きました。

アンケートでは、

「過去の災害からの教訓をしっかり受け止め、周囲で連携していくことの大切さ、計画するだけでなく訓練(実践)していかなければならないことなど 勉強になりました。」

「災害発生時にみんながバタバタする中で、その時の病院の状況をすみやかに正確に把握する大切さを教えられました。対策本部の立ち上げ訓練について何度も真剣に行うようにしていきたい。」

など、たくさんのご意見やご感想をいただき、参加された皆様の防災意識の高さがうかがえました。

今回の懇話会を通じ、発災時における地域連携の重要性を再確認しました。貴重な講演をいただいた講師の先生方に感謝申し上げます。

今後も防災意識の高揚と地域との連携構築に向け、取り組んで参りたいと思います。



プログラム

■挨拶

奈良県立医科大学附属病院 病院長 古家 仁

■基調講演

「災害に強い地域となる備え
被災地での医療機関の関わり」
兵庫県災害医療センター
副センター長 川瀬 鉄典 先生

■シンポジウム

「災害時の対応について」
奈良県立医科大学
総合医療学講座教授 西尾 健治 先生
「災害時に医師会が果たす役割」
奈良県医師会 理事 錦織 方人 先生
「平成30年7月豪雨災害による
緊急消防援助隊奈良県大隊の活動等」
奈良県広域消防組合
警防部次長 松岡 成憲 先生

総司会

奈良県立医科大学附属病院
地域医療連携室室長 吉治 仁志

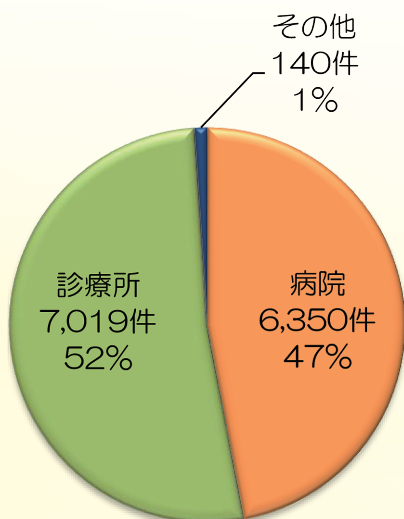
ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。
詳しい開催報告につきましては、ホームページをご覧ください。

H30年度地域医療連携室実績報告

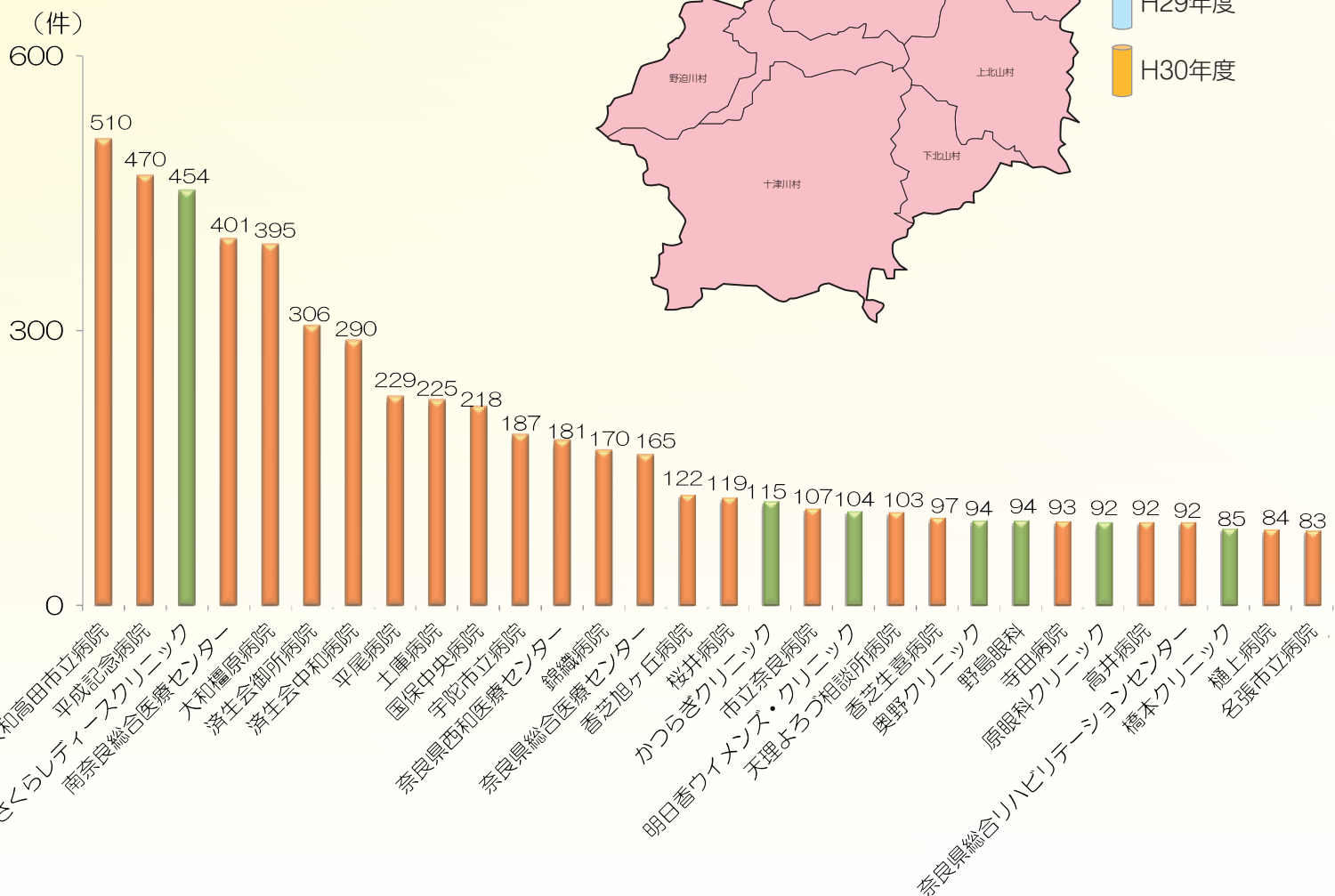
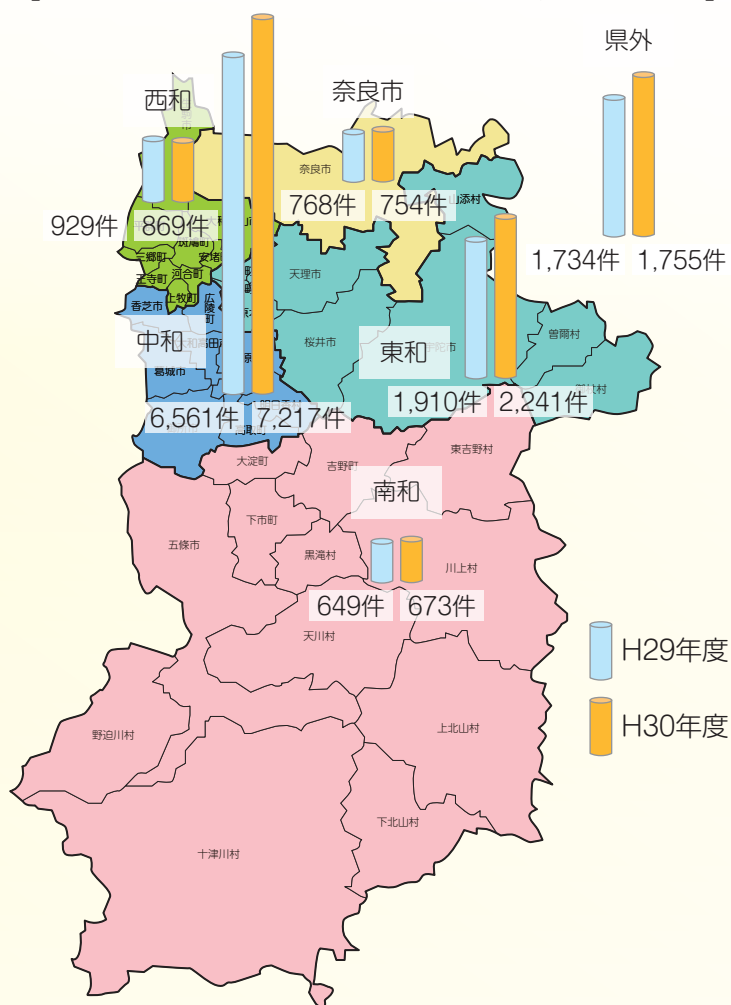
◆初診紹介患者予約実績

初診紹介患者予約システム利用状況 計=13,509件

【医療機関別】



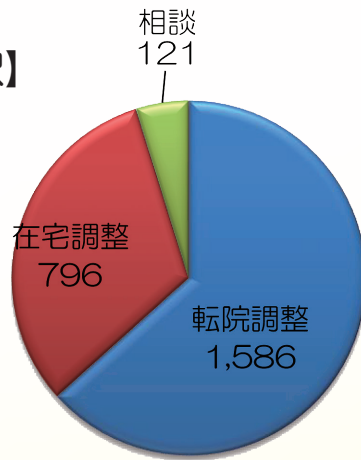
【紹介元医療機関 医療圏別 (H29年度と比較)】



◆退院調整実績

【退院調整：内訳】

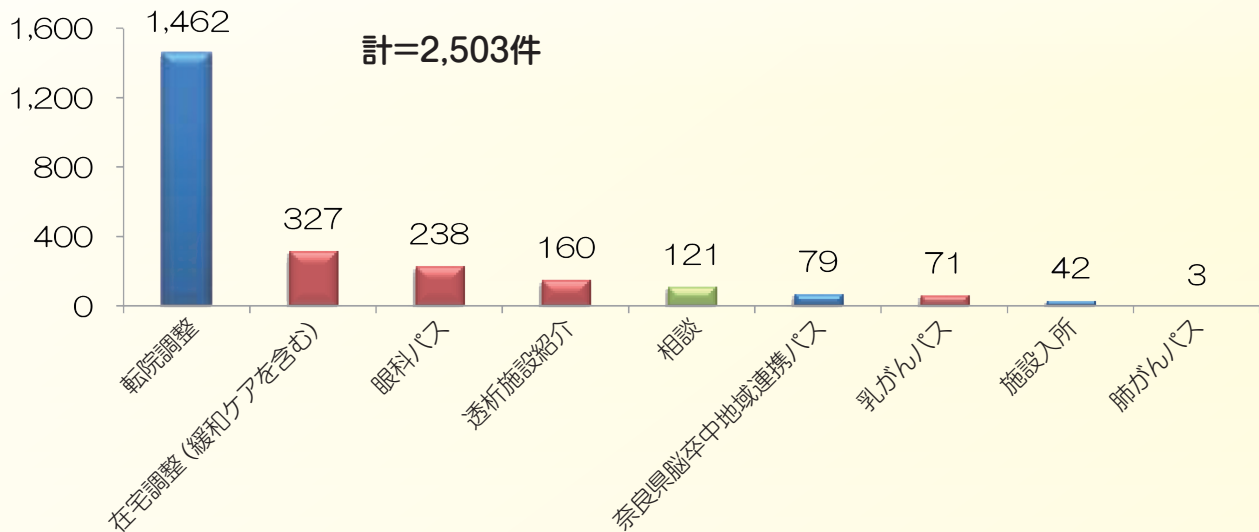
計=2,503件



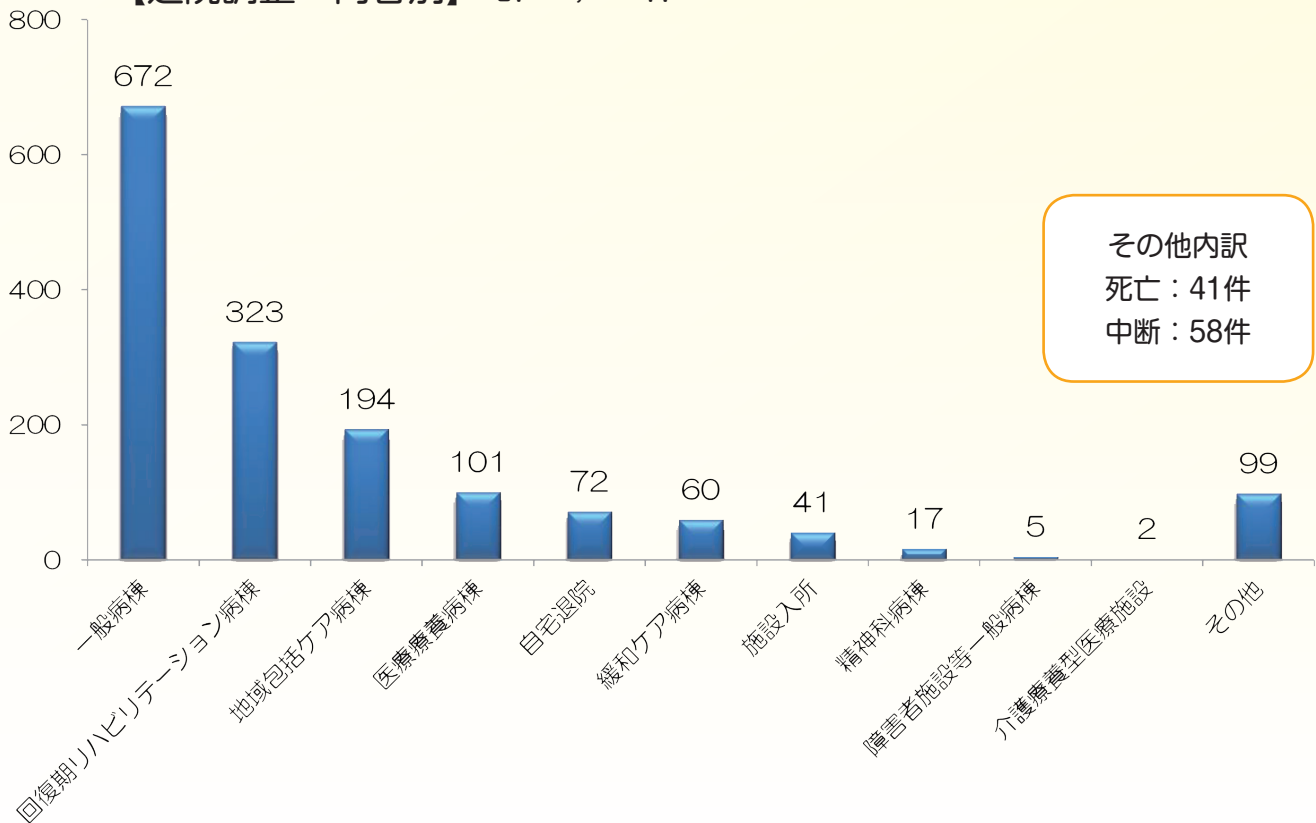
転院調整：転院調整（日程調整）
奈良県脳卒中地域連携パス
施設入所
肺がんパス

在宅調整：在宅調整（緩和ケアを含む）
眼科パス
透析施設紹介
乳がんパス

【退院調整：内容別】



【退院調整：内容別】 計=1,586件



その他内訳
死亡：41件
中断：58件

診療科紹介

歯科口腔外科



平素より当科への患者さんのご紹介ならびに診療活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当科は、口腔、顎、顔面ならびにその隣接臓器に生じる疾病や異常を総合的に診察、治療を行う科です。この領域は、咀嚼、嚥下、構音、会話、呼吸、整容などの社会生活に欠かせない機能を担っており、非常に重要な器官であることは言うまでもありません。病気を治すだけでなく、その機能の向上と回復をめざし、患者さんが十分に納得され、信頼される治療が受けられるよう、プロフェSSIONALとして日々臨床に研究に邁進しています。

対象となる主な疾患は、口腔顎顔面各領域の悪性腫瘍(癌)、良性腫瘍、口唇裂口蓋裂、顎顔面骨折、歯牙破折などの外傷、顎変形症、嚢胞、口腔顎顔面再建、顎関節疾患、炎症(顎骨炎、膿瘍)、口腔粘膜疾患、口腔乾燥症(ドライマウス)、口腔インプラント、歯科矯正、神経系疾患、唾液腺疾患、摂食・嚥下障害、睡眠時無呼吸症候群、周術期口腔機能管理(口腔ケア)などが対象です。最近では唾石症の内視鏡による非侵襲的治療も行っております。また、親知らずの抜歯や全身疾患や

障害のある患者様の全身麻酔下での歯科治療も行っています。

当科は、各疾患の専門医を中心としたチームによる治療を行っています。当科には日本口腔外科学会の専門医、指導医をはじめ、国際口腔顎顔面外科専門医(FIBCSOMS)、がん治療専門医、インプラント専門医、顎関節専門医、感染症専門医など口腔外科に関連する各種学会の指導医や専門医が多数在籍しており、エビデンスに基づいた高度で安全な治療を提供することにより、患者様のQOLの向上に貢献できるよう日々努力しています。また、口腔腫瘍外来、口腔顎顔面外傷外来、顎関節症外来、口腔インプラント外来、ドライマウス外来、歯顎矯正外来などの専門外来を設け、診療の効率化と高度で専門的な診療を行っています。

奈良県における公的大学病院、中核病院としての自覚と使命を認識し、地域の先生方と連携を取りながら、誠実で安心な医療を提供できるよう心がけています。皆様のご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

総合診療科



平素は当科の診療活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。総合診療科について紹介させていただきます。

奈良医大総合診療科では、どこの科でも診療対象になりにくい症状の診療（不明熱、体重減少、全身倦怠感など）、専門科受診までも必要のない一般的な疾患の患者さん、どの科で診療を受けたらよいかわからない患者さんの加療、適切な専門科紹介などを主に行っています。貴医療機関におかれまして、紹介する科がはっきりしない症例、診断に難渋する症例、治療に難渋する症例等がありましたら、お気軽に当科にご紹介頂けましたら幸いです。

受診されて、すぐに適切な専門科が判明しない場合や多科にわたる疾患を有されている場合は、当科で検査、治療を始めさせていただき、専門他科にコンサルテーションしながら加療を行います。診断がつき方向性がはっきりして単独の専門科疾患と判明した場合には、後日専門科に転科していただく事もあります。

また、当科に通院中の方で、生活習慣病などの慢性疾患を診断した場合、当科にて必要な検査、治療を行って症状が安定されましたら、継続診療

はかかりつけ医として地域の医療機関へ紹介させていただくこともございます。どうぞ協力よろしくお願いいたします。

平日9時00分～20時00分（2019年6月現在）まで、ER対応で2次救急対応の救急車の受け入れを行っています。2次救急適応の患者様がおられましたら、ご紹介ください。満床の場合は、受け入れ後他院に紹介になる場合がございます。また、当院専門科定期通院中の患者様は当該科にご相談ください。

新専門医制度で、総合診療専門医が新設され、当科でも総合診療専門医の育成を行っています。医療が専門分化していく中、これからの超高齢社会において総合的に診る医療も時代に求められていると感じます。地域の先生方と協力しながら、全人的な医療の提供に努力していく所存です。

これからも当科の診療活動に、ご理解ご協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

地域医連携室からのお知らせ

連携登録医の先生方へ

患者さんからの直接予約を開始しています

6月3日(月)より、連携登録医の先生方からの初診紹介患者さんに限り、患者さんからの電話による直接予約を開始いたしました。

勿論、従来のFAX・オンラインシステムもご利用いただけますので、状況に合わせて3種の方法から予約をご利用ください。

連携登録医のつどいを開催いたします

11月2日(土)、橿原神宮 養正殿にて今年度も連携登録医のつどいを開催いたします！

詳細は決まり次第ご連絡いたしますので、奮ってご参加ください！

予約方法を3種類から
選んでいただけます！



※電話予約専用ダイヤルにて受付

番号は登録医の先生方に別途ご案内しております。

当院では連携登録医制度を推進しております

連携登録医の先生方の患者さんに限り患者さんからの直接予約が可能です。

そのほか……

- ・連携登録医のつどいへの参加
- ・紹介患者さんのカルテ閲覧・患者訪問
- ・大学附属図書館の利用

…なども可能です！

新規登録・ご利用方法については当院の地域医療連携室のホームページをご覧ください。どうか、地域医療連携室に直接お問い合わせください。



紹介予約患者さんの受付場所が変わりました

5月3日(金)より、地域医療連携室予約の患者さんの受付手続き場所が「**2**初診再診受付」に変更になりました。

初診再診受付は、北玄関を入ってすぐの広いカウンターです。初めて奈良医大へ来られる患者さんにも場所が分かりやすく、各診療科への移動もよりスムーズになりました。



奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室 〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL: 0744-22-3051 (代) / 0744-29-8022 (直通) FAX: 0744-23-9923

編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室

URL <http://www.naramed-u.ac.jp/~chiiki/>

発行/2019年7月